



発行 越谷市立病院
 発行人 院長 丸木 親
 編集 院内情報誌編纂委員会
 連絡先 〒343-8577
 越谷市東越谷10-32
 電話 048-965-2221(代)
 FAX 048-965-3019
 発行月 令和5年(2023年)4月
 (No.55)

「臨床検査科」紹介

診療部臨床検査科

技師長

渋谷 賢一
しんや けんいち

2020年1月に、我が国最初の新型コロナウイルス感染症が確認されて以来、テレビ等でPCR検査という言葉が耳にすることが多くなりました。この検査を行っているのが臨床検査技師です。PCR検査は臨床検査技師の業務の中ではごく一部で、実際は皆さんが病院で受ける多くの検査に携わっています。臨床検査技師になるには、高校卒業後、大学や専門学校で養成課程を修了し、国家試験に合格して免許を取る必要があります。臨床検査技師は病院や臨床検査センター、研究施設などで

基本的に医師の指示のもとで医療に関する検査を行うのが主な仕事です。大きく分けて「検体検査」と「生体検査(生理機能検査)」の2つがあります。

「採血してきてください」「尿を採ってきてください」と言われることがあると思います。こうして採取された血液や尿、便、痰などをを用いて身体に異常がないかを調べるのが「検体検査」です。付け加えると当院の中央採血室での採血業務はほとんど臨床検査技師が行っており、患者さんから検体を採取するところから私たちの検査が始まっています。検体検査にはよく知られている血液検査や尿検査以外にも様々な検査があります。

例えば採取した尿や痰、便などを培養し病原菌がないか、その菌にはどの薬が効きやすいかを調べる細菌(微生物学的)検査や、患者さんから採取された細胞を標本にして顕微鏡で観察し、がん細胞を発見する検査があります。これは細胞包査(細胞学)検査

専門資格を持った臨床検査技師が行っており、がんの早期発見に貢献しています。次に生体検査ですが、これは患者さんの体に検査機器を当てたり装着することで直接情報を記録して体の状態を調べます。具体的には生理機能検査室で行っている心電図検査や呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査などがあげられます。例えば、心電図検査では手足、胸部に電極を付けて心臓の電気信号を記録し、不整脈や狭心症・心筋梗塞などを調べることでできます。

臨床検査技師は専門性が高い仕事であり、検査に関しては十分な知識を有していることから、検査だけではなくチーム医療にも積極的に参加しています。

医療が高度化し、臨床検査技師が扱っている検査の対象も広がっています。さらに、今後は医師を中心としてさまざまな医療スタッフと連携をとり、業務を進めていくことが必要となっていくと考えられます。臨床検査科では、迅速かつ正確に検査結果をご報告できるように日々努力しています。

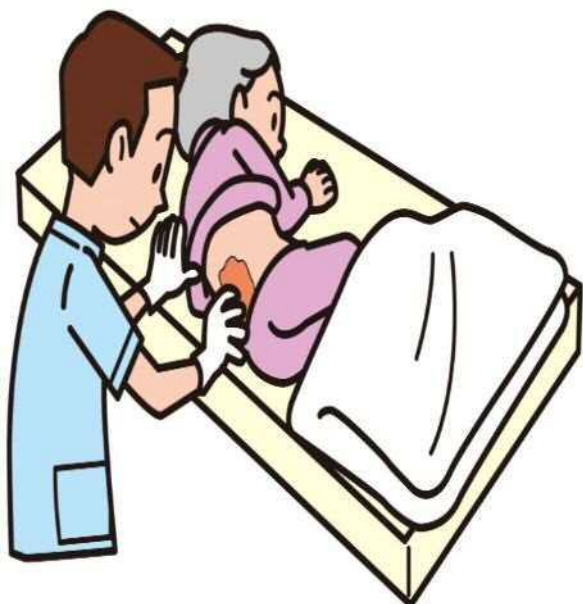


「褥瘡（床ずれ）について」 じよくそう

皮膚・排泄ケア認定看護師

もり みさ
森 美沙

みなさんは、褥瘡（床ずれ）のことをどれくらいご存じでしょうか？
「寝たきりになったときに出来るもの」といった認識の方が多いと思います。褥瘡の原因である身体に加わる圧力は、常に私たちの身体に加わっています。



普段、寝ている時は寝返りを無意識に打つといったことで身体を動かしているため、褥瘡ができません。

しかし、「昨日まで元気に歩いていたお年寄りが、発熱し一晩寝込んだら褥瘡が出来てしまった」、「腰痛が悪化したため同じ姿勢でずっと座っていたら褥瘡が出来てしまった」というのは実はよく聞く話です。

褥瘡になると、塗り薬だけを塗っていても治らないこともあります。

褥瘡は、骨の突出した部分などに圧力が加わって発生するため、その原因となる圧力を減らす必要があります。骨にあたる圧力を減らすためには、褥瘡予防用具が必要となります。

しかし、「専用の褥瘡予防用具は褥瘡が出来てから使うもの」といった間違った認識をお持ちではないでしょうか？

発生してしまった褥瘡の中には、適切な褥瘡予防用具さえ使用できていなければここまで褥瘡が悪化しなかったのに・・・又は、褥瘡が発生しなかったのに・・・ということが多く見受けられます。

褥瘡は、発生しないよう予防することが重要となるため、療養環境を考えた褥瘡予防マットレスや車いす用クッションを選択し使用する必要があります。

今回、褥瘡が出来る前から予防用具を使用する必要性を知っていたただけかと思えます。このことを多くの方に知っていただくことで、病院以外での褥瘡予防対策の一助となれば幸いです。

求人募集を行っています

当院では随時求人募集を行っております。興味がある方はぜひご連絡お待ちしております。

詳細については当院ホームページをご確認ください。

- ・常勤職員
- （看護師・薬剤師）
- ・会計年度任用職員

※令和5年3月時点となりますので、募集終了している場合がございます。



求人情報についてはこちら



「おおぞら学級とは？」



おおぞら学級とは、越谷市立東越谷小学校と越谷市立東中学校の分教場として、越谷市立病院の7階に、平成8年4月に開級しました。越谷市立病院に入院している小学生、中学生が対象です。

この学級では、一人一人の健康状態や学校の学習進度に合わせて、病院に入院しながら、学習します。「おおぞら学級」で学習した日は、学校に「出席」したことになります。

勉強は、病気が治ってからでもよいのでは？

入院していても、小学生・中学生であり続けることに意味があります。入院すると、家族や学校という社会生活から離れるため刺激に乏しく、どうしても単調な生活になりがちです。

また、勉強の遅れへの不安や、疎外感や孤立感を感じることも少なくありません。

今の体調に応じて学習を続けることで、小学生・中学生としての自尊心を持ち続けることができます。同時に、生活のリズムや変化を与え、心身に健康回復を促すことができます。



おおぞら学級では何をするの？

午前3時間、午後2時間の授業があります。お昼は病棟に戻って食べます。(小学生は学年によって午後1時間の授業の場合があります。)毎週木曜日の午後はALT(外国語指導助手)の授業があります。

また、健康状態によっては、バルコニーや室内で工夫して、卓球・バドミントンなどの運動(体育・自立活動)も行います。「自立活動」とは、自分をよく知り安心感の中で学習すること、心の健康を高めていくための活動です。

◆ 編集後記 ◆

院内情報誌編集委員長

おはぎわ はなこ
尾羽澤 英子

今年は雪が沢山降った寒い冬だったので、その分スギ花粉も早くから飛散して大変でしたね。

新型コロナウイルスが5類扱いとなり、いよいよコロナ明けが近づきましたね。新年度新たな気持ちで迎えましょう。